

人として

筑後市社会福祉協議会 / 広報

筑後市社会福祉協議会
(〒833-0032 筑後市野町680-1)
TEL 52-3969
FAX 53-6677
mail info@chikugo-shakyo.or.jp
URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で私たちのまちを 福祉のまちに…それが社会福祉協議会の目標です

毎週木曜日は心配ごと相談の日



あなたのお話、 聴かせてください

- ご近所トラブル
- 人間関係の悩み
- 健康面の不安
- 家族関係の悩み
- 介護や子育ての不安
- 愚痴を吐きたい

モヤモヤ・イライラ…

あなたの気持ちを

聴かせてください

モヤモヤした気持ちや、イライラする気持ちになること、ありませんか？

誰かに話したいけれど、誰でも良いわけじゃない。安心して愚痴をこぼしたい—。

そんな人にも利用してもらいたいのが「心配ごと相談室」です。

「ご近所トラブル」「人間関係」「恋愛相談」「家族関係」「健康面の不安」「介護や子育ての不安」等、どんなことでもお話しください。あなたの話をしっかりと聴きます。

毎週木曜13～16時に開設

予約不要・秘密厳守です

心配ごと相談室のご利用案内は次の通りです。

とき 毎週木曜日13時～16時

(年末年始・祝日は除く)

ところ 筑後市総合福祉センター

相談は毎回2名の相談員がお聴きします。予約は不要です。秘密は厳守します。

ひきこもり家族相談会

◎とき：3月13日(木) 13:00～16:00

◎ところ：筑後市総合福祉センター

- ・相談希望の方は、3月6日(木)17時までにご予約ください。(1日限定3組)
- ・原則、来所での相談となります。
- ・匿名での相談も可能です。

問合せ・予約は筑後市社会福祉協議会へ
TEL 52-3969 FAX 53-6677

「いっしょに話せてよかった」
話すことで、悩みを放す。

特に人間関係や家族関係の悩みや心配なことは、すぐには解決しないかもしれません。しかし、相談者からは「ここで話せてよかった」という感想をいただくことがあります。話すことで、悩みや心配ことを放すことができるのかもしれない。

また市社協では別途「ひきこもり家族相談会」も実施しています。詳細は左記をご参照ください。

★活動紹介★

不登校・ひきこもり家族会
サルビアの会

家族会に来ると安心する

同じ立場の人同士がつながって、

本人の幸せを考えていきたい。



「友達が欲しい」と本人

仲間ができると思いながら…

同じ立場で集まると、一人じゃないと思える。最近「友達がほしい」と息子が言い出した。当事者同士の仲間ができると思いながら…

(20歳代の息子がひきこもり)

「サルビアの会」は、不登校やひきこもりの人の家族の会として、月に1回集まり、情報交換や学習会などを開いています。ここでは、家族の想いを紹介します。

ひきこもりは悪くありませんが、ひきこもりを終えたいと思った時どんなサポートができるのか。不登校やひきこもっている本人が自分らしく生きていくために、家族ができることはないか。

家族会の模索は続きます。

親への罪悪感があるようだ

「貴方が嬉しいと私も嬉しい」と伝えたい

親への罪悪感があるようだ。食事や息子の好物をつくっても、「働いていない自分が食べたら申し訳ない」とつぶやいた。「あなたが好きなものを食べてくれると嬉しいんだ

「話し合い」が福祉活動のキホン

—西牟田校区福祉会 役員研修会—



1月19日(日)、西牟田校区福祉会の役員研修が開かれました。研修では、小グループに分かれ情報交換も行われました。

その中からは、「多世代交流は大切。地域の子どもたちと楽しみながらつながりたい」「地域には得意技を持っている人がいる。そうした人たちが活躍できる場をつくりたい」「住民同士のつながりがあれば、孤立死を予防することもできるのでは」といったことなどが話されました。

最終的には、「皆で話し合うことが大切」という意見で一致した研修会となりました。

介護する家族も健康であるために

—介護家族の会コスモス 健康体操—



筑後市介護家族の会は、家族を介護する人たちの会です。毎月の定例会では、介護者同士での交流活動を中心に、活動されています。

1月26日(日)の定例会では体操教室が行なわれました。体を伸ばしたり、脳トレしたりで、楽しい時間になりました。

また、パラスポーツの「ボッチャ」も体験。和気あいあいとした交流となりました。

なお、同会では随時会員を募集しています。家族を介護している方の参加をお待ちしています。

■問合せ 筑後市社会福祉協議会 TEL52-3969

よ」と伝えてはいる。

(20歳代の息子がひきこもり)

「生きていてよかった」と

幸せを感じてほしい

親の考えを息子に押し付けてきたのかも知れない。「親がこんな風だからごめん」と謝ったこともある。しかし「自分が悪い」「ぶがいない息子でごめん」と本人。涙が出る。「死にたい」と言ったこともあるので、生きていられるだけであっばれと思う。息子自身に「生きていてよかった」と幸せを感じてほしい。

(40歳代の息子がひきこもり)

息子も世間の常識に

悩み苦しんでいる

「今のままでいい」と「普通でいてほしい」の両方の気持ちで揺れる。言葉にはしなくても、「仕事をしたい」「学校へ行つてほしい」という気持ちが伝わるような、無言の圧力をかけていた頃もあったと思う。

そして親だけでなく、息子も世間の常識にとらわれて、苦しんでいる。

(20歳代の息子がひきこもり)

家を安心な場所にし、

エネルギーをためてあげたい

就職氷河期に加え、本人の特性(発達障害)も相まって、大学卒業後ひきこもり状態になった。

家では安心してひきこもらせ、エネルギーを貯めさせてあげたい。しかし、家庭環境の複雑さもあり難しい。家庭が安心・安全にならない。

(40歳代の娘がひきこもり)

悪気がない言葉も

胸に刺さることがある

息子がひきこもっていることを、言える人と言えない人がいる。息子のことを話すと、「家におらせたらダメよ」「外に出しなさい」と安易に言われることがある。

悪気がないことは理解できるが、責められているように感じてしまう。胸に刺さる。

(20歳代の息子がひきこもり)



「家族会に来ると安心する」の声も。家族もつながりながら、より良い方向性を見出ししていきたいものです。

★子育て世代を

食で応援プロジェクト★

寄付いただいた食品(お米等)や生活用品を無料配布します。

とき 3月7日(金) 17:30~18:30

配布場所 筑後市総合福祉センター

対象 小中学生の子どもがいる世帯

- * 筑後市在住の方限定。
- * ひとり親家庭の方は除く(ひとり親家庭のためのフードパントリーをご利用ください)。
- * 事前申し込みは必要ありません。

★今後は不定期で開催します

同プロジェクトはこれまで奇数月に定期開催をしてきましたが、4月以降は不定期での開催とします。開催については本紙にて随時お知らせいたします。

食品の寄付にご協力ください。

お米やレトルト食品・缶詰等の食品寄付を募っています。皆様のご協力をお願いいたします。

受付 筑後市社会福祉協議会 (筑後市野町 680-1)
問合せ TEL 0942-52-3969

気軽にお立ち寄りください

精神障害のある人のための居場所・交流スペース

かたる〜むの3月の予定

とき 3月14日・28日(金)
13:30~15:00

★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター (野町 680-1)

問合せ 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

MAIL info@chikugo-shakyo.or.jp

筑後市社協 LINE 公式アカウントの

友達追加・受信設定をお願いします!



- ・ イベント情報
- ・ フードパントリー関連情報
- ・ 地域活動紹介 等々

様々な情報をお届けしています。



◀登録はコチラから!

社団法人福祉事業資金寄付

★ 香典返し寄付の部 ★

- 渡邊 秀典様 (故) 敏子様 長浜
- 石川 雅美様 (故) 照美様 水田上
- 坂本 美幸様 (故) 好弘様 久富
- 貝田 美佐子様 (故) 博則様 下富久
- 徳永 喜美子様 (故) 善明様 富重
- 清水 保男様 (故) 静子様 秋松
- 轟 広文様 (故) ヨシ子様 長浜
- 松隈 千代子様 (故) 充臣様 秋松
- 田島 敏子様 (故) 照臣様 野中
- 匿名様 (1件)

★ 一般寄付の部 ★

○筑後市シニアクラブ連合会様から
現金の寄付がありました。

★ 計 三三六、六〇〇円

善意奉仕銀行寄付

● 預託の部 (物品口座)

- 筑後市立病院様から食品の寄付がありました。
- 匿名様(1件) から衣類の寄付がありました。
- 匿名様(1件) から紙オムツの寄付がありました。
- 農事組合法人ファーム島田様(島田)

第41回 ふれあいひろば

～みんな集まれ、つくろう笑顔の輪～

● はねマルシェ&バザー



- ・焼き菓子
- ・だご汁
- ・カレー
- ・スイーツ
- ・野菜
- ・アクセサリー
- ・手作り雑貨
- ・米粉パン・コーヒー 等

筑後市
自立支援
協議会
啓発事業

とき

3/15
(土)

1000
～ 15:00

ところ

筑後市
総合福祉
センター

筑後市総合福祉センターは、
誰もが安心して集える居場所です。
ご家族で！ お友達と！
おひとりでも！ぜひお越しください！



←イベント詳細は
こちらから

● 工作・体験

- ・木工体験 ※ ※10時から整理券を配布。受付人数に達し次第終了。
- ・モール工作 ※
- ・防災体験
- ・手話体験
- ・おもちゃ図書館
- ・はね丸ふわふわ遊具 (3分100円)



● くすのもりアート展

- ・わかたけ作業所
- ・宝箱

● こども服お譲り会

● ステージ

- ・10:00 ～ 合唱 (筑後児童合唱団)
- ・11:00 ～ 読み聞かせ (群読 和)
- ・13:00 ～ 読み聞かせ (朗読 みずぐるま)
- ・13:30 ～ 「舞台であそぼう!!」
(こどものえんげきひろば)



主催 筑後市ボランティア連絡協議会
筑後市自立支援協議会
筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677
MAIL info@chikugo-shakyo.or.jp

からサツマイモの寄付がありました。
○ユーコーラッキー37筑後店様(長浜)
からお菓子の寄付がありました。
○J Aふくおか八女よらん野様(前津)

から野菜の寄付がありました。
○(株)プレシア様(下北島)からお菓子
の寄付がありました。
【いずれも1月1日～1月31日まで】

事務局通信

「認知症の夫が行方不明になった」と介護家族の会の会員さん。

「入浴中のほんの僅かな時間に家を出て行った。何度電話しても出ない。スマホの操作法も忘れていた」

「警察へかけこみ、捜索願を出した。警察から改めて夫の携帯へ電話してもらったら、知らない人が出た。夜中にパジャマ姿の夫を見かけ、保護してくれた方だった。無事に見つかった本当に良かった。今は靴の中にGPSをしのばせている」

「最近私の名前も忘れた。私は目の前にいるのに『妻がいない』と言う。夜中に何度も起こされる。ここ最近3時間くらいしか寝れない。本当に介護は大変」

そんな話を聴きながら、他の会員さんが次のように話されました。
「私も認知症の義母の介護は大変だった。介護する家族の側が倒れるのが一番良くない。だから、あなた自身の体を優先してほしい」

同じ介護家族だからこそその会話と同じ言葉でも、同じ介護者だからこそ分かります。家族同士のつながりは大切だと感じました。(善)